



Roche ロシュ グループ

2026年12月期 第1四半期決算説明会

2026年4月24日

中外製薬株式会社



創造で、想像を超える。

重要な注意事項

将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

Core実績

当社はIFRS移行を機に2013年よりCore実績を開示しております。Core実績とは、IFRS実績に当社が非経常事項と捉える事項の調整を行ったものであります。なお、当社が非経常事項と捉える事項は、事業規模や範囲などの違いによりロシュと判断が異なる場合があります。当社ではCore実績を、社内の業績管理、社内外への経常的な収益性の推移の説明、並びに株主還元をはじめとする成果配分を行う際の指標として使用しております。

注：

- 本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示。増減、％は億円単位で表示された数字で計算
- 本資料の増減金額の表記は以下の通りです。
 - ① 収益及び原価・費用の増減は、増益方向を「+」、減益方向を「△」で表示
 - ② 増減率は金額の「増」「減」をそれぞれ「+」「△」で表示

Agenda

01 2026年第1四半期の総括

代表取締役社長 CEO

奥田 修

02 2026年第1四半期 開発パイプラインの状況

上席執行役員

プロジェクト・ライフサイクルマネジメントユニット長

草野 司

03 2026年第1四半期連結決算(Core)概要

取締役 上席執行役員 CFO

谷口 岩昭

2026年第1四半期の総括

代表取締役社長 CEO

奥田 修

Financial Overview

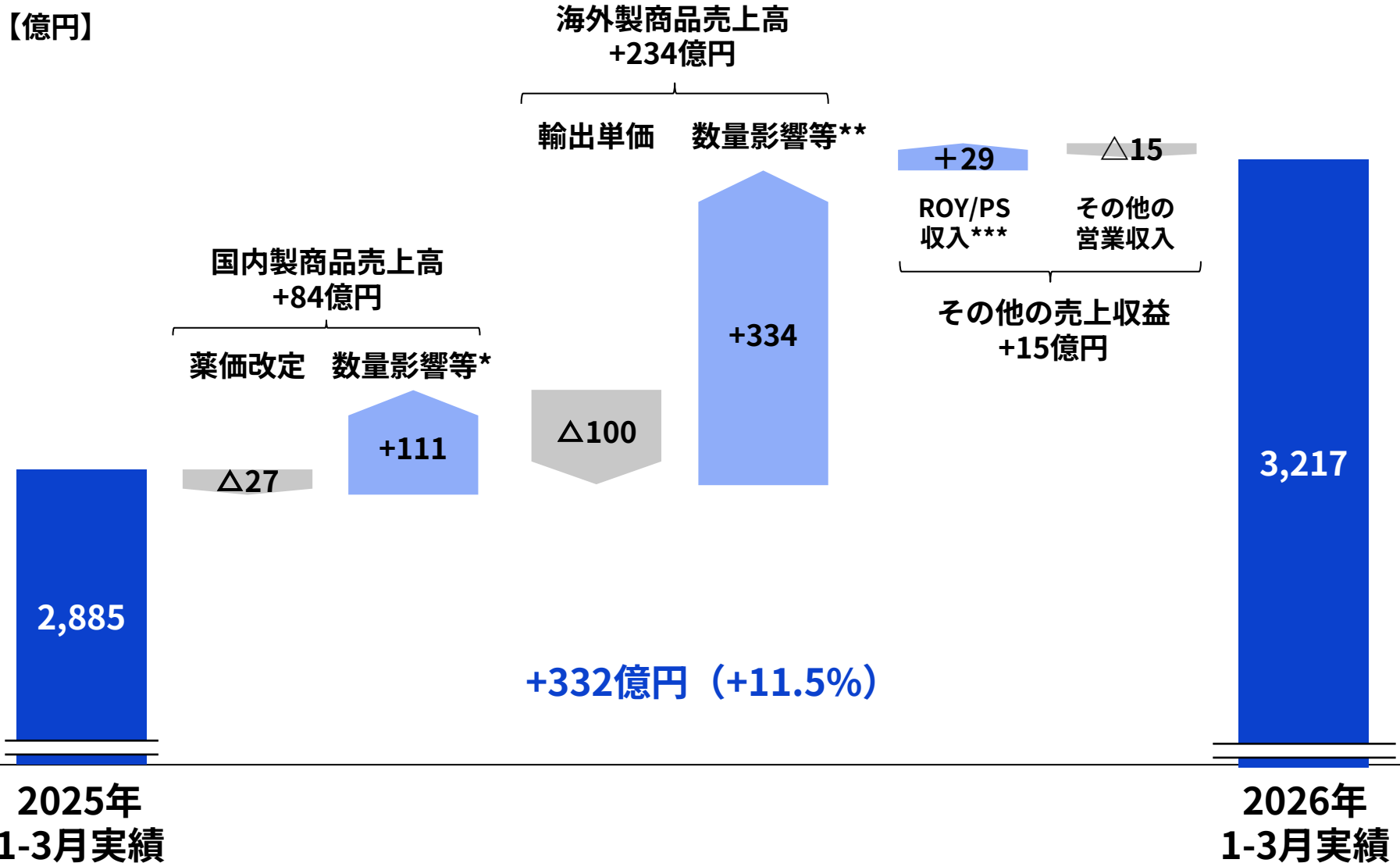
- 国内外の製商品売上高がともに順調に推移し、増収増益の決算
- ヘムライブラ輸出に加え、第三者向けNEMLUVIO*輸出・ロイヤルティ収入が牽引

Core実績 【億円】	2025年 1-3月 実績	2026年 1-3月 実績	対前同		2026年	
			増減	増減率	1-12月 予想	進捗率
売上収益	2,885	3,217	+332	+11.5%	13,450	23.9%
国内製商品売上高	1,030	1,114	+84	+8.2%	4,980	22.4%
海外製商品売上高	1,567	1,801	+234	+14.9%	6,020	29.9%
その他の売上収益	287	302	+15	+5.2%	2,450	12.3%
営業利益	1,395	1,633	+238	+17.1%	6,700	24.4%
営業利益率	48.4%	50.8%	+2.4pts	-	49.8%	-
四半期利益	992	1,186	+194	+19.6%	4,850	24.5%
EPS (円)	60.30	72.03	+11.73	+19.5%	295.00	24.4%

*NEMLUVIO® (nemolizumab)

Topline Overview

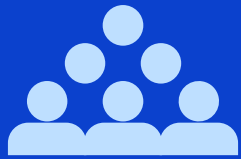
【億円】



- 国内売上
薬価改定、後発品浸透の影響を受けたものの、主力品（バブースモ、ヘムライブラ、ポリビー、フェスゴ）、新製品（ルンスミオ）が伸長し、前年比で増加
- 海外売上
輸出単価減少の影響はあったものの、主にロシュ向け輸出のヘムライブラ、ガルデルマ向けのNEMLUVIOの大幅な数量増加や為替影響により、前年比で増加
- その他の売上収益
一時金収入が減少したものの、主にNEMLUVIOに関するロイヤリティ収入の増加により前年比で増加

* 後発品浸透によるマイナス影響含む **後発品浸透によるマイナス影響、為替によるプラス影響（99億円）含む ***ロイヤリティ及びプロフィットシェア収入

1Qの主な進捗 (1/2)



開発パイプラインの進展

- **NXT007** : 2028年申請に向け、2つのP3試験(ZEBRHA 1/2試験^{*1})を2Q開始予定
- **emugrobart** : SMA^{*2}/FSHD^{*3}において開発中止。肥満症を対象としたP2試験は継続し、年内リードアウト予定
- **エンズプリング** : MOGAD^{*4}を対象のMETEOROID試験(P3)においてPE^{*5}を達成。試験結果をAAN^{*6}にて発表。年内申請予定
- **ギレDESTラント** : persevERA試験(1L 乳がん)で開発中止。一方、PE達成のevERA試験(1L-3L 乳がん)/lidERA試験(乳がんアジュバント)結果を基に、年内申請予定
- **DONQ52** : セリアック病を対象にDAISY試験(P2)を開始
- 過去最多の申請に向けて、概ね順調に進捗

^{*1}ZEBRHA 1試験 : ClinicalTrials.gov ID: NCT07416526、ZEBRHA 2試験 : ClinicalTrials.gov ID: NCT07416604 ^{*2}SMA : 脊髄性筋萎縮症 ^{*3}FSHD : 顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー
^{*4}MOGAD : ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質抗体関連疾患 ^{*5}PE : 主要評価項目 ^{*6}AAN : American Academy of Neurology、米国神経学会

1Qの主な進捗 (2/2)



複数の新製品発売、適応拡大

- **エレビジス**：DMD^{*1}に対する国内初の遺伝子治療薬として発売
- **ルンスミオ、ポライビー併用療法**：r/r LBCL^{*2}に対し、世界で初めて日本で承認取得
- **ルンスミオ**：皮下注製剤発売、**エンスプリング**：オートインジェクター承認



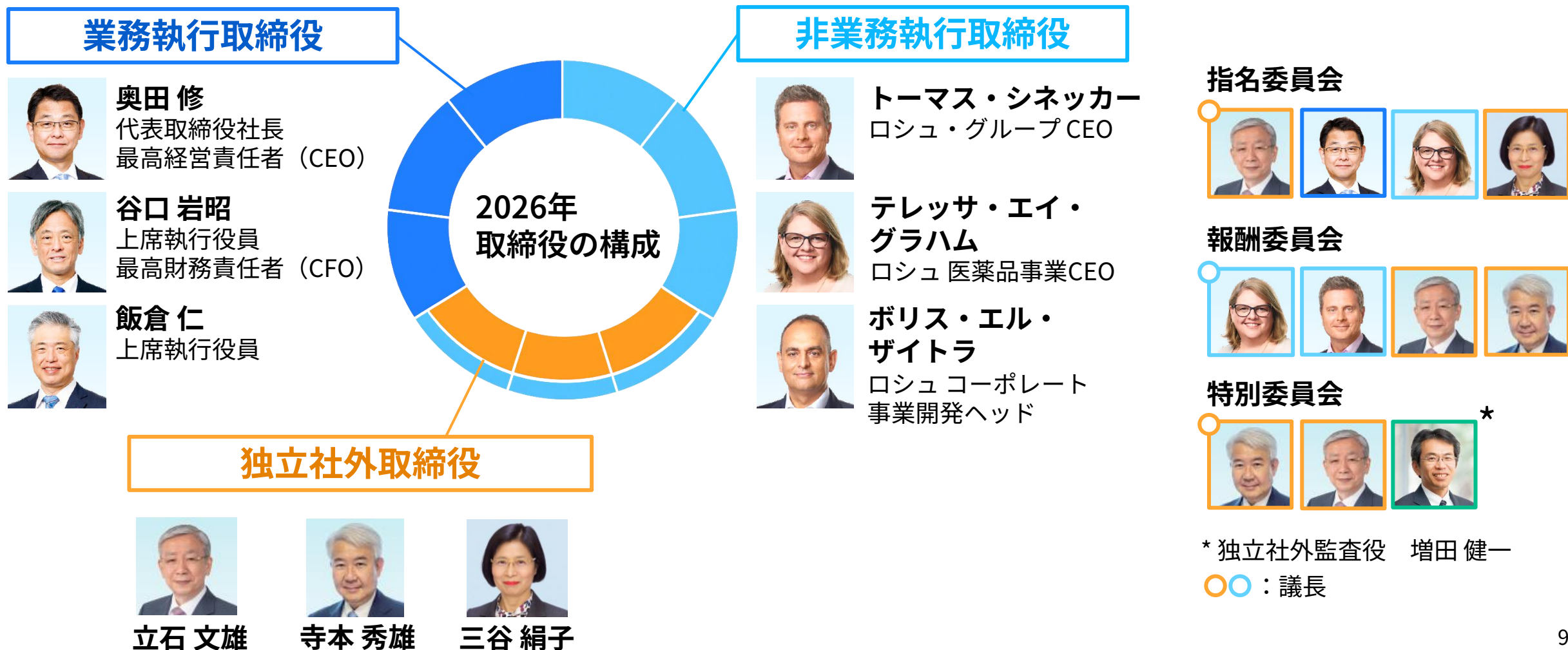
第三者導出品の状況

- **オルホルグリプロン(米国製品名：Foundayo)^{*3}**：食事や飲水の制限なく、いつでも服用が可能な1日1回投与の唯一の経口GLP-1受容体作動薬。肥満症治療薬として、米国で承認取得・発売。日本・欧州を含む40を超える国々で、肥満症や2型糖尿病を対象に承認申請中
- **NEMLUVIO^{*4}**：ピークセールス^{*5}を引き上げ(2bnUSD超から4bnUSD超)。米国における新規患者処方(NBRx^{*6})シェアは、結節性痒疹約39%、アトピー性皮膚炎約8%。

^{*1} DMD：デュシェンヌ型筋ジストロフィー ^{*2} r/r LBCL：再発又は難治性の大細胞型B細胞リンパ腫 ^{*3} イーライリリー・アンド・カンパニーへ導出 ^{*4} ガルデルマへ導出
^{*5} アトピー性皮膚炎、結節性痒疹におけるピークセールス (ガルデルマ予測) ^{*6} NBRx：New-to-brand prescriptions, 2026年2月初旬から3月中旬

取締役構成（2026年4月1日現在）

- 適切なリスクテイクを伴った迅速果断な経営判断を行うため、取締役会全体として必要な専門性、能力、ジェンダーや国際性、職歴、年齢の面を含む適切な多様性と規模を確保



2026年第1四半期 開発パイプラインの状況

上席執行役員 プロジェクト・ライフサイクルマネジメントユニット長

草野 司

1Qトピックス (1/2)

発売	エレビジス	デュシェンヌ型筋ジストロフィー*	2026年2月
承認	エンズプリング	剤形追加 (オートインジェクター)	2026年3月
	Foundayo**	肥満症を有する成人、および過体重で体重に関連する健康障害を有する成人	2026年4月 (米国)
	リツキサン	自己免疫性溶血性貧血 (公知申請)	2026年2月
	ルンスミオ+ポライビー	再発又は難治性の大細胞型B細胞リンパ腫	2026年3月
	FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル	ALK融合遺伝子陽性の固形がんに対するアレセンサのコンパニオン診断	2026年3月
申請	ラニビズマブ (Port Delivery Platform with ranibizumab)	医療機器部分 (眼内インプラント)	2026年3月
試験開始	inavolisib	PIK3CA 遺伝子変異陽性乳がん (内分泌療法感受性) [一次治療] (CDK4/6阻害剤、レトロゾール併用)	第III相 (2026年2月)
	inavolisib	PIK3CA 遺伝子変異陽性・HER2陽性乳がん [一次治療] (フェスゴ併用)	第III相 (2026年3月)
	CT-388/enicepatide	肥満症 (Enith1試験: 2型糖尿病非合併)	第III相 (2026年4月)
	DONQ52	セリアック病	第II相 (2026年4月)
パイプライン 削除	エンズプリング	デュシェンヌ型筋ジストロフィー: 開発中止	—
	emugrobart	脊髄性筋萎縮症 (MANATEE試験) / 顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー (MANOEUVRE試験): 開発中止	—
	テセントリク	肝細胞がん [2次治療] (IMbrave251試験): 開発中止	—
	ギレデストラント	ホルモン受容体陽性乳がん [1次治療] (persevERA試験): 開発中止	—

オレンジ: 自社創製品 (グローバル開発)、ブルー: ロシュ導入品 (日本開発販売)

*ジストロフィン遺伝子のエクソン8及び/又はエクソン9の一部又は全体の欠失変異を有さず、抗AAVrh74抗体が陰性である3歳以上8歳未満の歩行可能な患者、**導出先のイーライリリー・アンド・カンパニーが実施

1Qトピックス (2/2)

Readout	Foundayo*	第III相 ACHIEVE-4試験（2型糖尿病）：主要評価項目達成	2026年4月
	ギレデストラント	第III相 persevERA試験（ホルモン受容体陽性乳がん）：主要評価項目未達	2026年3月
学会発表	NXT007	EAHAD：第I/II相 NXTAGE試験パートC（血友病A、ヘムライブラからNXT007へ休薬期間なしの切り替え）	2026年2月
	NEMLUVIO**	AAD：第II相（中等度から重度のアトピー性皮膚炎を有する2歳から11歳の小児）	2026年3月
	エンズプリング	AAN：第III相 METEOROID試験（ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質抗体関連疾患（MOGAD））	2026年4月
論文発表	Foundayo*	The Lancet：第III相 ACHIEVE-3試験（2型糖尿病）	2026年2月
希少疾病用 医薬品指定	グローフィタマブ	大細胞型B細胞リンパ腫	2026年2月
契約締結	Araris Biotech	リンカー・ペイロードADC技術AraLinQに関するライセンス契約	2026年2月

オレンジ：自社創製品（グローバル開発）、ブルー：ロシュ導入品（日本開発販売）、*導出先のイーライリリー・アンド・カンパニーが実施、**導出先のガルデルマが実施
 EAHAD: European Association for Haemophilia and Allied Disorders, AAD: American Academy of Dermatology, AAN: American Academy of Neurology

2026年 主要なR&Dイベント

	開発品（製品）名	予定適応症 / 試験名	進捗状況
承認 予定品目	アレセンサ	ALK融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の固形がん	
	ルンスミオ+ポリビー	再発又は難治性の大細胞型B細胞リンパ腫	承認 ○
P3/ピボタル試験 Readout	エンズプリング	METEOROID試験：ミリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質抗体関連疾患（MOGAD）	PE達成 ○
	divarasib	KRASCENDO 1試験：非小細胞肺癌（二次治療）	
	ギレデストラント	persevERA試験：ホルモン受容体陽性乳がん（一次治療）	PE未達 ×
	ルンスミオ	CELESTIMO試験：濾胞性リンパ腫（二次治療）	
	セーファキセルセン	IMAGINATION試験：IgA腎症	
P2試験 Readout	emugrobart +エブリスディ	MANATEE試験：脊髄性筋萎縮症（SMA）	開発中止 ×
	emugrobart	MANOEUVRE試験：顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー（FSHD）	開発中止 ×
		GYMINDA試験：肥満症	
試験開始	NXT007	血友病A（P3試験）*	
	DONQ52	セリアック病（P2試験）	試験開始 ○

オレンジ：自社創製品（グローバル開発）、ブルー：ロシュ導入品（日本開発販売） PE: 主要評価項目
 *3本のP3試験を2026年に開始予定（第VIII因子製剤との比較、ヘムライブラとの比較、小児を対象）

下線・太字：2026年1月29日からの変更点

NXT007：エミシズマブから休薬期間なしの切り替えパート

- エミシズマブ治療下のインヒビター保有または非保有血友病Aの方々を対象に、エミシズマブからNXT007へ休薬期間なしに負荷投与から開始、切り替えた初めてのデータ
- エミシズマブ未治療群を対象としたパートBと同様に、現時点までのデータにおいてはNXT007の忍容性は良好。高用量コホートにおいて、正常レベルと同等の血液凝固第VIII因子等価活性が期待できる血中濃度に到達し、治療を要する出血は認められなかった

安全性

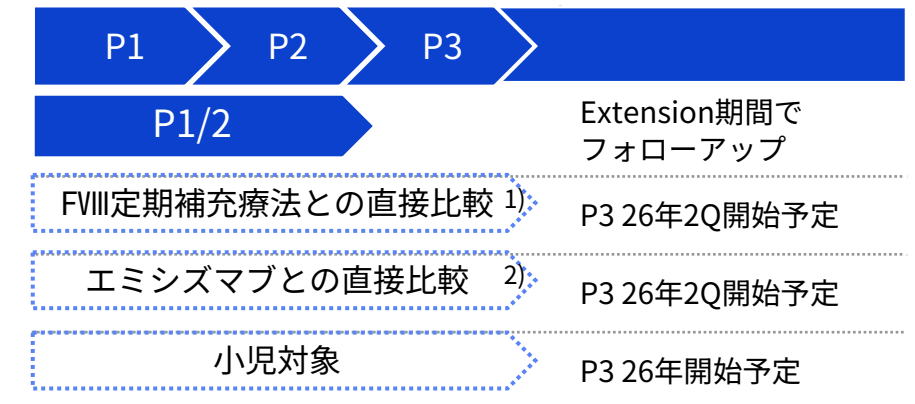
- 用量依存的な有害事象の増加は認められず、NXT007に関連する重篤な有害事象および血栓塞栓症イベントは認められなかった
- ADAは14例中3例に認められ、PKに影響を与えるADAの発現が1例で認められたが、エミシズマブと交差反応するADAは認められなかった

	C1 0.072 mg/kg Q4W (n=4)	C2 0.28 mg/kg Q4W (n=3)	C3 0.7 mg/kg Q4W (n=4)	C4 1.08 mg/kg Q4W (n=3)	Total (N=14)
Total number of patients with at least one AE	4 (100.0%)	2 (66.7%)	4 (100.0%)	2 (66.7%)	12 (85.7%)
Total number of AEs	33	8	28	7	76
Total number of patients with at least one:					
Serious AE	1* ¹	0	0	0	1
Leading to treatment discontinuation	0	0	0	0	0
NXT007-related	0	0	0	0	0
Thromboembolic event	0	0	0	0	0
NXT007-related AE *²	1	0	1	1	3
Injection site reaction	0	0	1	1	2

*¹ 重篤な有害事象“脛骨骨折”は、NXT007との関連性はなかった。

*² 注射部位硬結（C3で7件）、注射部位反応（C3で1件）、注射部位内出血（C4で1件）、頭痛（C1で1件） 出典：欧州血友病学会(EAHAD)におけるNXT007 第I/II相 NXTAGE試験パートC発表資料 14

エミシズマブとの直接比較を含む3つの第III相試験の開始に向け、着実に準備を進行



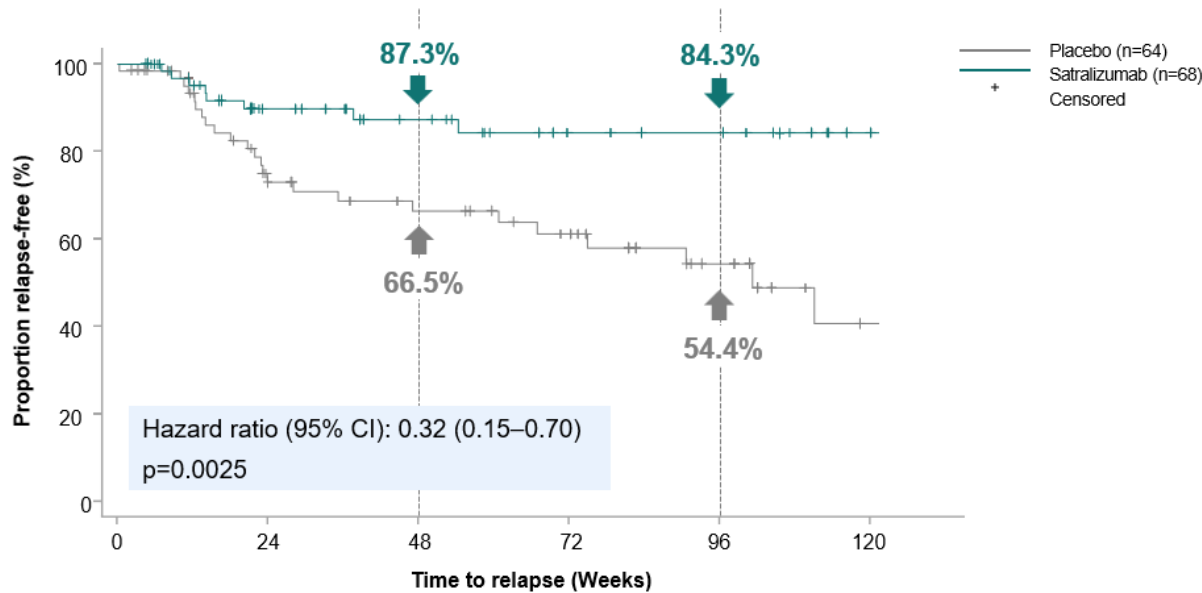
1) ClinicalTrials.gov ID: NCT07416526

2) ClinicalTrials.gov ID: NCT07416604

エンズプリング (MOGAD) : 第III相 METEOROID試験 (2026年米国神経学会)

- MOGADに対するグローバル第III相臨床試験 (METEOROID) で、主要評価項目 (MOGADの初回再発までの期間) を達成、新たなMOGAD再発リスクがプラセボと比較して68%減少 (HR=0.32 (p=0.0025))
- 安全性データは、NMOSDで確立されたデータと同様であり、新たな安全性の懸念は認められず、忍容性は良好
- 標準的な治療法が確立されていない中、初めて前向き無作為化比較試験で有効性を検証
- 国内において、希少疾病用医薬品、先駆的医薬品の指定を取得

独立判定委員会判定によるMOGAD初回再発までの期間



Number at risk:	0	24	48	72	96	120
Placebo	64	53	37	32	29	26
Satralizumab	68	57	42	39	32	25

		プラセボ (n=64)	エンズプリング (n=68)
主要評価項目	再発を経験した被験者	37.5 %	13.2 %
	ハザード比 (95%CI)	0.32(0.15-0.70)	
	p-value	0.0025	
副次評価項目	KM 推定値に基づく48週時無再発率	66.5 %	87.3 %
	KM 推定値に基づく96週時無再発率	54.4 %	84.3 %

MOGAD: ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質抗体関連疾患、NMOSD: 視神経脊髄炎スペクトラム障害、KM: カプラン・マイヤー (Kaplan-Meier) 法

今後の申請予定 (P2以降開発品・製品)

申請中

アレセンサ (AF802/RG7853) ALK融合遺伝子陽性の切除 不能な進行・再発の固形がん	アバスチン (RG435) 神経線維腫症II型
テセントリク (RG7446) MRD陽性膀胱がん (アジュバント)	

自社創製品 (グローバル開発)
ロシュ導入品 (日本開発販売)
第三者導入品 (日本開発販売)

新規 適用拡大
■ □
■ □
■ □

★ 新規追加

ギレドストラト酒石酸塩 (RG6171) 1L-3L 乳がん	ルンスミオ (RG7828) 2L 濾胞性リンパ腫		ガザイバ (RG7159) 腎症を伴わない 全身性エリテマトーデス	バビースモ (RG7716) 非増殖糖尿病網膜症		afimkibart (RG6631) クローン病	エレビジス (RG6356) DMD(歩行不能)
ギレドストラト酒石酸塩 (RG6171) 乳がん (アジュバント)	ラニビズマブ(Port Delivery Platform with ranibizumab)* (RG6321) DME		テセントリク+アバスチン (RG7446+RG435) 肝細胞がん (intermediate ステージ)	inavolisib (RG6114)★ PIK3CA 遺伝子変異陽性 乳がん (内分泌療法 感受性) [一次治療]		セーファキセルセンナトリウム (RG6299) IgA腎症	ルンスミオ (RG7828) 未治療の濾胞性リンパ腫
エンズプリング (SA237/RG6168) 甲状腺眼症	ラニビズマブ(Port Delivery Platform with ranibizumab)* (RG6321) nAMD	スパルセンタン IgA腎症	afimkibart (RG6631) 潰瘍性大腸炎	inavolisib (RG6114)★ PIK3CA 遺伝子変異陽性・ HER2陽性乳がん [一次治療]		divarasib (RG6330) 1L NSCLC	enicepatide ★ (RG6640) 肥満症
ピアスカイ (SKY59/RG6107) aHUS	グローフィタマブ (RG6026) r/r DLBCL	ガザイバ (RG7159) 特発性ネフローゼ症候群	divarasib (RG6330) 2L NSCLC	グローフィタマブ (RG6026) 再発または難治性の マンデル細胞リンパ腫		emugrobart (GYM329/RG6237) 肥満症	zilebesiran (RG6615) 高血圧症
エンズプリング (SA237/RG6168) MOGAD	バミキバルト (RG6179) UME	ガザイバ (RG7159) ループス腎炎	ヘムライブラ (ACE910/RG6013) III型フォン・ ヴィレブランド病	グローフィタマブ (RG6026) 初発大細胞型B細胞リンパ腫 (ポライビー併用)		NXT007 (RG6512) 血友病A	trontinemab (RG6102) アルツハイマー病

2026年

2027年

2028年

2029年以降

aHUS：非典型溶血性尿毒症症候群、DME：糖尿病黄斑浮腫、DMD：デュシェンヌ型筋ジストロフィー、MOGAD：ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質抗体関連疾患、MRD：分子的残存病変、nAMD：新生血管を伴う加齢黄斑変性、NSCLC：非小細胞肺癌、r/r DLBCL：再発または難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫、UME：非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫

*医療機器部分 2026年 3月申請

第三者導出プロジェクトの進展 (1/2)

一般名/開発コード	作用機序	導出先	導出先の権利範囲	開発ステージ	予定適応症	プロジェクトの状況
avutometinib /VS-6766	RAF/MEK clamp (遮断)	Verastem Oncology	全世界の製造・ 開発・販売の独 占的实施権	米国：上市済み	KRAS変異陽性の再 発低悪性度 漿液性卵巣がん (LGSOC)	● 25年5月に迅速承認制度のもと承認取得
				海外/米国：第III相		● RAMP 301 trial (P3) グローバルで実施中
				日本：第II相		● RAMP 201J trial (P2、defactinibとの併用)：初期データ開 示 (16例評価可能、ORR 38%) ★
				米国：第I/II相	転移性膵管腺がん (一次治療) (mPDAC)	● RAMP 205 trial (P1/2、ゲムシタピン・nab-パクリタキセル およびdefactinibとの併用)
ネモリズマブ	抗IL-31RA ヒト化モノク ローナル抗体	Galderma	日本を除く全世 界の開発・販売 の独占的实施権	海外： 上市済み (米国/欧州、 およびその他の市場)	アトピー性皮膚炎 (AD) /結節性痒 (PN)	● AD/PNを対象としたグローバルピーク売上高の見通しを 2bnUSD超から4bnUSD超へと引き上げ★ ● AD承認取得: 24年12月 (米国)、25年2月 (欧州) ● PN承認取得: 24年8月 (米国)、25年2月 (欧州)
				海外：第II相	原因不明の慢性そ う痒症 (CPUO)	● 25年4Q開始
一般名未定 /AP306 (EOS789)	経口リン酸輸 送体阻害剤	Alebund Pharmaceu ticals	全世界の製造・開 発・販売の独占的 实施権	中国：第II相	高リン血症	● P2試験：投与終了時点において、AP306群はベースラインに比 し臨床的に意義のある血清中リン濃度の減少を示した ● 中国において、慢性腎臓病患者における高リン血症に対する治 療薬として、Breakthrough Therapy指定 ● 中国以外の地域におけるAP306の開発推進を目的として、 DaVita (腎臓ケアのグローバルリーディングカンパニー) 等と 合併会社 (R1 therapeutics) を設立★

* ガルデルマのガイダンスに基づく (Source: [Galderma.com](https://www.galderma.com))

★：前回決算からの変更点

第三者導出プロジェクトの進展 (2/2)

一般名/開発コード	作用機序	導出先	導出先の権利範囲	開発ステージ	予定適応症	プロジェクトの状況
オルホルグリプロン カルシウム /LY3502970	非ペプチド型 経口GLP-1受 容体作動薬	Eli Lilly and Company	全世界の開 発・販売権	米国：上市済み★	肥満症	● 2026年2Qに米国FDAより承認取得 ★
				グローバル： 第III相 欧州/日本：申請★		● 申請：2025年4Q（日本）★、2026年1Q（欧州）★ ● P3試験（ATTAIN-1）*：72週時点において、ルルグリア®の投与群は、最高用量で平均12.4%の体重減少が認められた。 ● P3試験（ATTAIN-2）*：肥満症または過体重の2型糖尿病の成人に対して、72週時点において、ルルグリア®の投与群は、最高用量で平均10.5%の体重減少が認められた。 ● P3試験（ATTAIN-MAINTAIN）*：体重維持に関する主要評価項目を達成し、52週時点において、セマグルチド® からルルグリア® に切り換え後の体重差の平均は 0.9kg、ルルグリア® からルルグリア® に切り換え後の体重差の平均は 5.0 kgであった。
				グローバル： 第III相 欧州：申請★	2型糖尿病	● 申請：2026年1Q（欧州）★ ● P3試験（ACHIEVE-1）*：40週時点において、ルルグリア®の投与群は、HbA1Cについて平均1.3~1.6%の低下と最高用量で7.9%の体重減少が認められた。 ● P3試験（ACHIEVE-2）*：主要評価項目を達成し、ダパゲリフロジン®に対する優越性を示した。40週時点において、ルルグリア®の投与群は、HbA1Cについて平均1.3~1.7%の低下が認められた。 ● P3試験（ACHIEVE-3）*：主要評価項目を達成し、経口セマグルチド®に対する優越性を示した。52週時点において、ルルグリア®の投与群は、HbA1Cについて平均1.9~2.2%の低下と最高用量で9.2%の体重減少が認められた。 ● P3試験（ACHIEVE-4）*：インスリンゲルギン®との比較において、主要評価項目である主要心血管イベント（MACE-4）の初回発生までの期間について非劣性を達成した。★ ● P3試験（ACHIEVE-5）*：40週時点において、ルルグリア®の投与群は、HbA1Cについて平均1.5~2.1%の低下が認められた。
				グローバル：第III相	睡眠時無呼吸症候群	● 24年4Q開始
				グローバル：第III相	高血圧症	● 25年3Q開始
				グローバル：第III相	変形性関節症	● 25年4Q開始
				グローバル：第III相	腹圧性尿失禁	● 25年4Q開始
				グローバル：第III相	主要心血管イベント （MACE）の発生に対するルルグリア®の効果の評価**	● 25年4Q開始
グローバル：第III相	末梢動脈疾患	● 26年1Q開始				

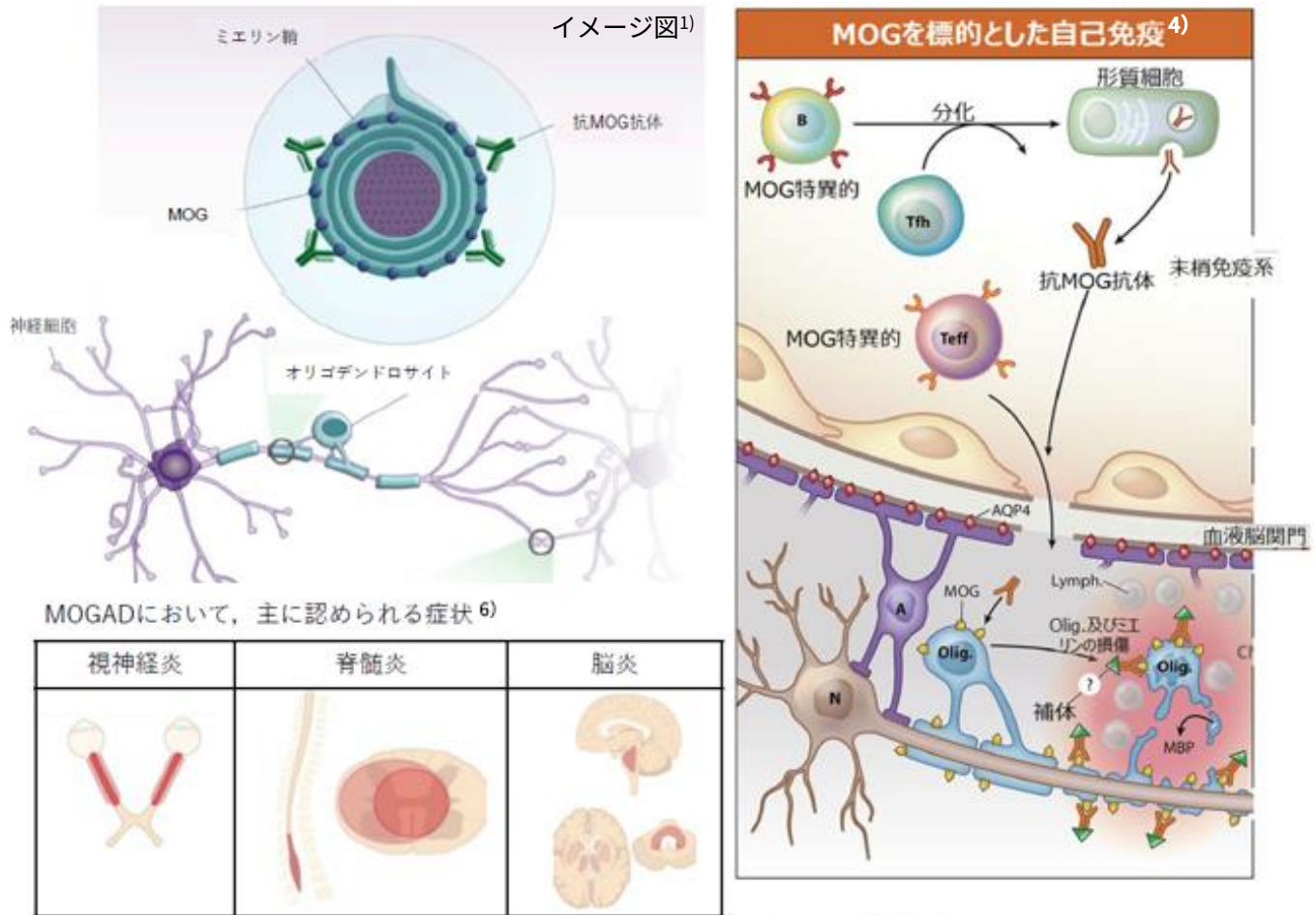
*安全性プロファイルは注射型GLP-1製剤と概ね同様であった **アテローム性動脈硬化性心血管疾患および/または慢性腎臓病患者

★：前回決算からの変更点

エンズプリング：ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質抗体関連疾患（MOGAD）

■ IL-6遮断により、病原性自己抗体産生の低下と抗炎症作用につながる可能性

- MOG抗体関連疾患は、病原性自己抗体である抗MOG抗体が、中枢神経系のミエリン鞘の最外層に存在するMOGに結合¹⁾することにより脱髄が生じる疾患であり、視神経炎、脊髄炎、脳炎等の症状を呈する²⁾
- MOGADに対して承認された治療法はなく、現在使用されている治療法では再発を繰り返す症例も報告されており、有効性および／または安全性において高いアンメットメディカルニーズがある^{2,3,4)}
- 日本では、全国疫学調査の結果、国内患者数は約1,700人と推定されている⁵⁾



A：アストロサイト、AQP4：アクアポリン4、Lymph.：リンパ球、MBP：ミエリン塩基性蛋白、MOG：ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質、N：ニューロン、Olig.：オリゴデンドロサイト

1) Pérez CA, et al. J Neuroimmunol. 2019;577124

2) 中島一郎：Brainand Nerve. 69(11):1331-1336,2017

3) 中島一郎：神経治療36(3):220-224,2019

4) ZamvilSS, et al. Neurol NeuroimmunolNeuroinflamm. 2(1):e62, 2015

5) 特定非営利活動法人MSキャビン https://www.msclub.org/mogad_cate/whats_mogad/

6) BrubaGD, et al. RadioGraphics2018; 38:169-193

2026年第1四半期 連結決算(Core)概要

取締役 上席執行役員 CFO

谷口 岩昭

損益 1-3月 前年同期比

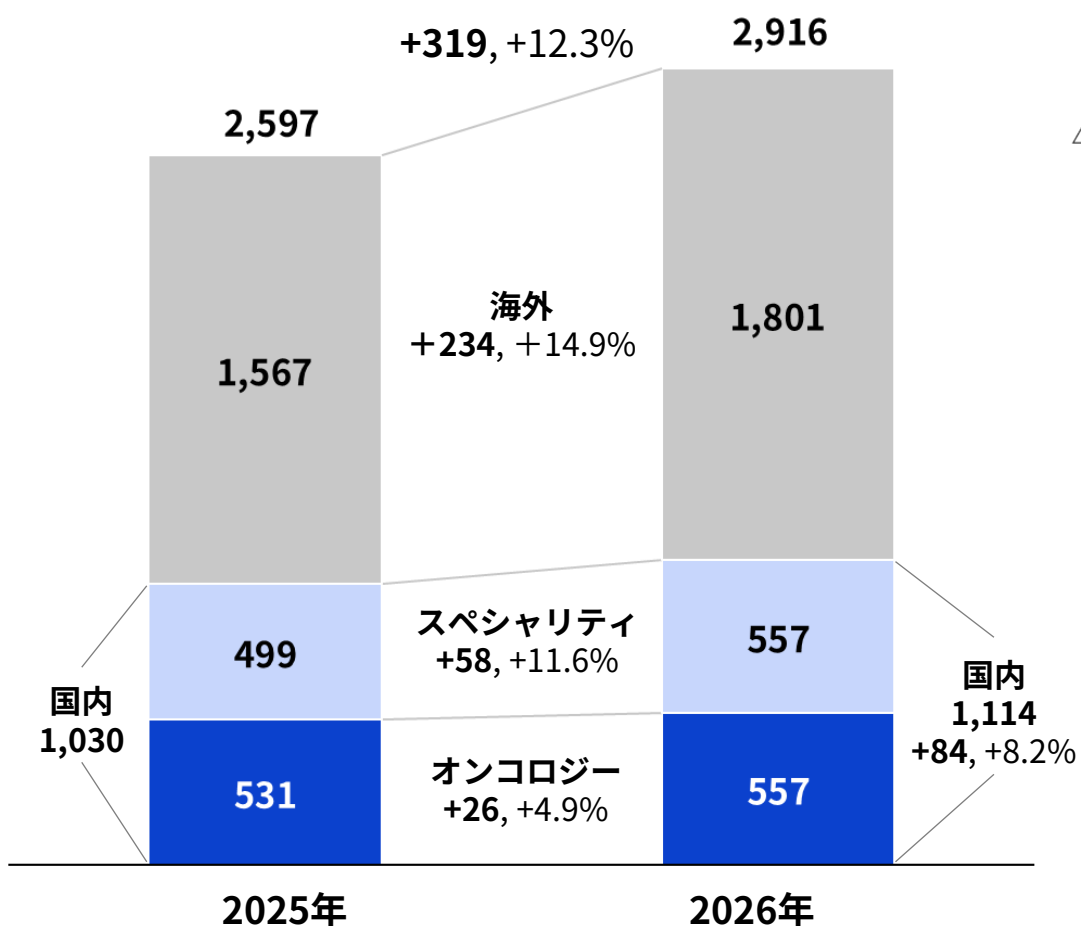
【億円】	2025年	2026年	増減	
売上収益	2,885	3,217	+ 332	+ 11.5%
製商品売上高	2,597	2,916	+ 319	+ 12.3%
国内	1,030	1,114	+ 84	+ 8.2%
海外	1,567	1,801	+ 234	+ 14.9%
その他の売上収益	287	302	+ 15	+ 5.2%
売上原価	△ 875	△ 923	△ 48	+ 5.5%
製商品原価率	33.7%	31.7%	△2.0pts	-
研究開発費	△ 407	△ 419	△ 12	+ 2.9%
販売費及び一般管理費	△ 210	△ 249	△ 39	+ 18.6%
その他の営業収益（費用）	3	6	+ 3	+ 100.0%
営業利益	1,395	1,633	+ 238	+ 17.1%
営業利益率	48.4%	50.8%	+2.4pts	-
金融収支等	△ 8	14	+ 22	-
法人所得税	△ 395	△ 462	△ 67	+ 17.0%
四半期利益	992	1,186	+ 194	+ 19.6%
EPS（円）	60.30	72.03	+ 11.73	+ 19.5%

- **国内**
薬価改定や後発品浸透等の減少影響を受けたものの、主力品や新製品の伸長により増加
- **海外**
ヘムライブラおよびNEMLUVIOが大幅に増加
- **その他の売上収益**
一時金収入が減少したものの、主にNEMLUVIOに関するロイヤルティ収入により増加
- **売上原価**
製品別売上構成比の変化および為替影響等により、製商品原価率が改善
- **研究開発費**
創薬・早期開発への投資や開発プロジェクトの進展に伴い増加
- **販売費及び一般管理費**
諸経費の一過性の増加及び法人事業税（外形標準課税）が増加

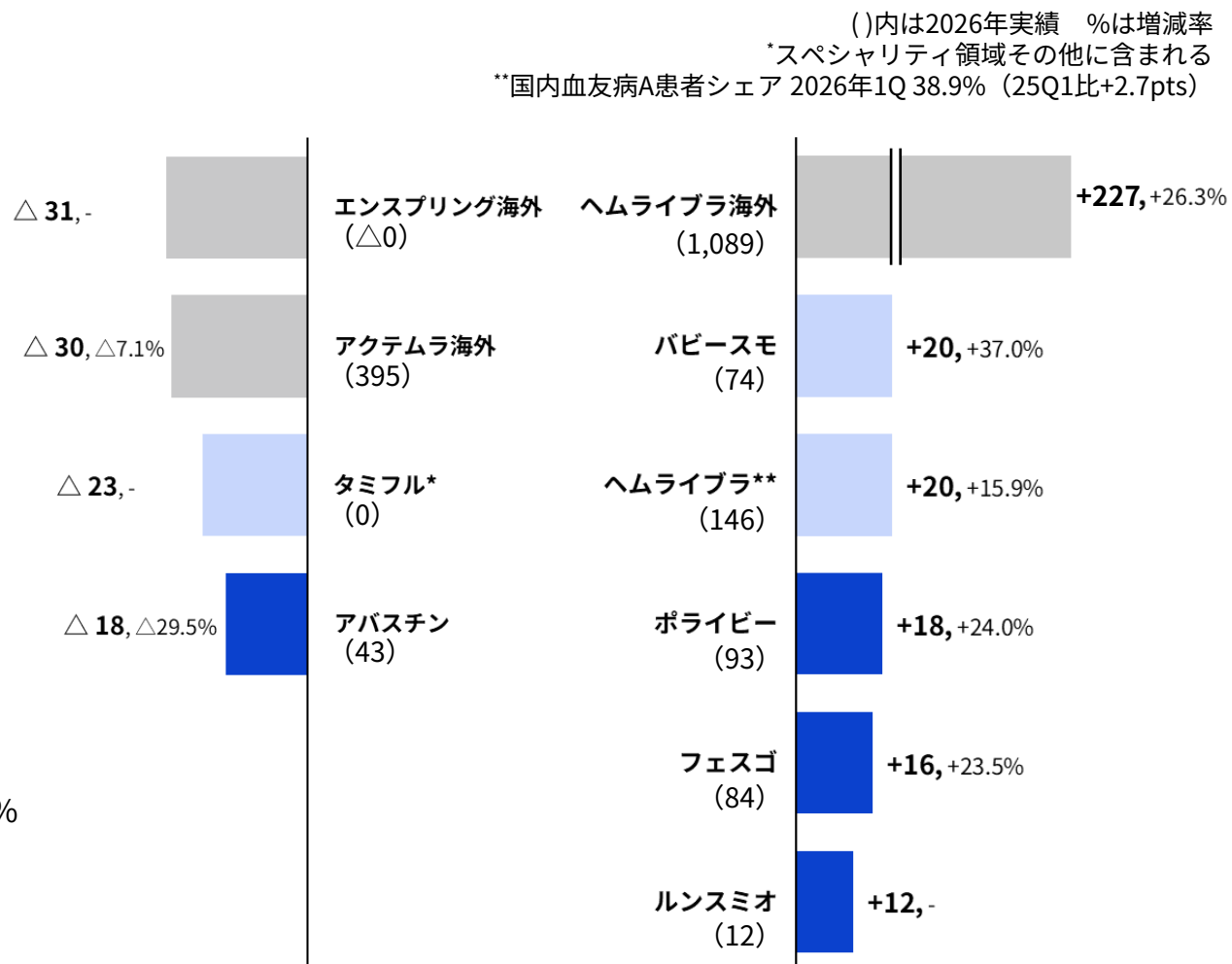
製商品売上高 1-3月 前年同期比

領域別売上高の比較

【億円】

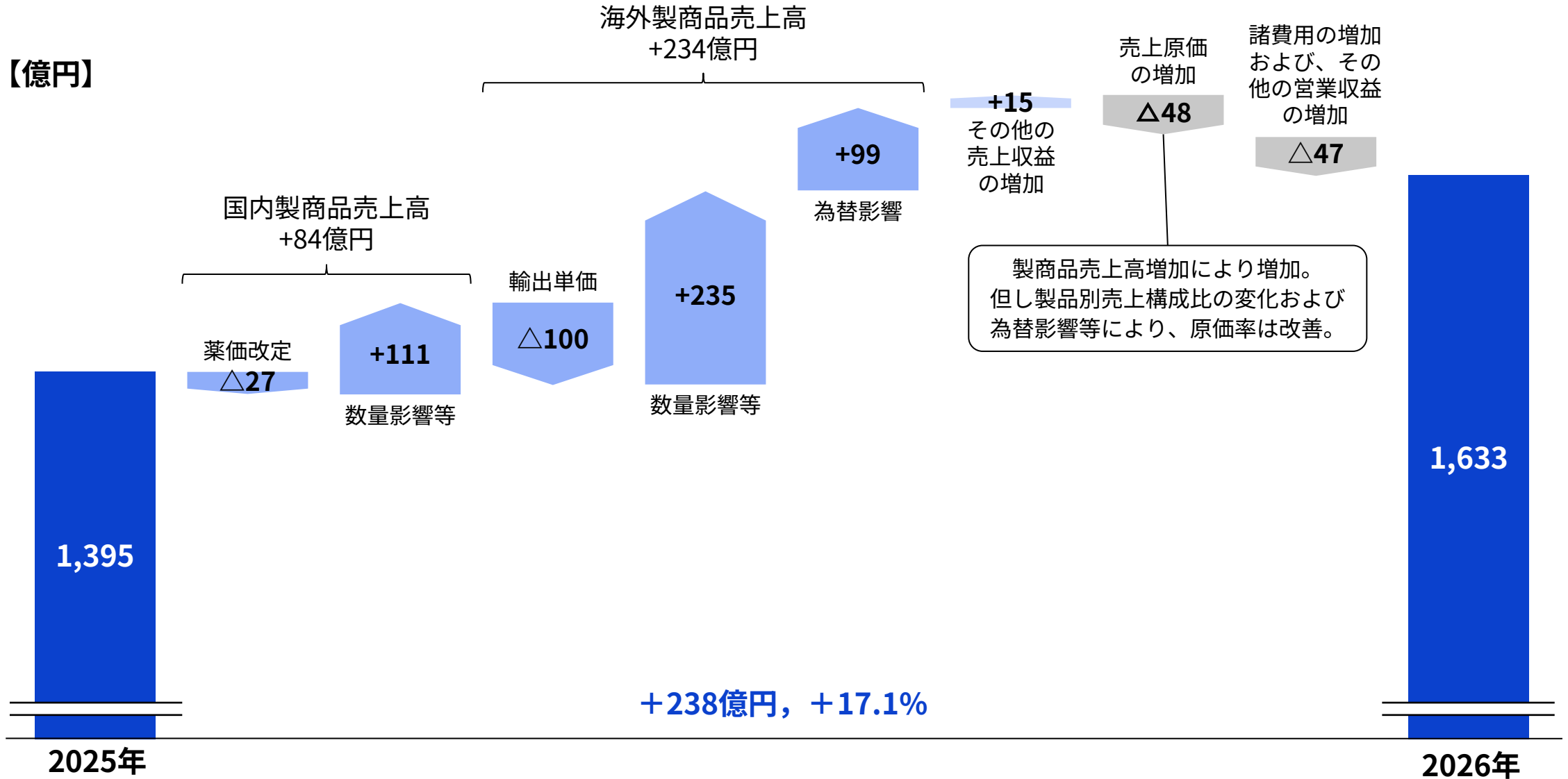


主な製商品売上高の増減



営業利益 1-3月 増減

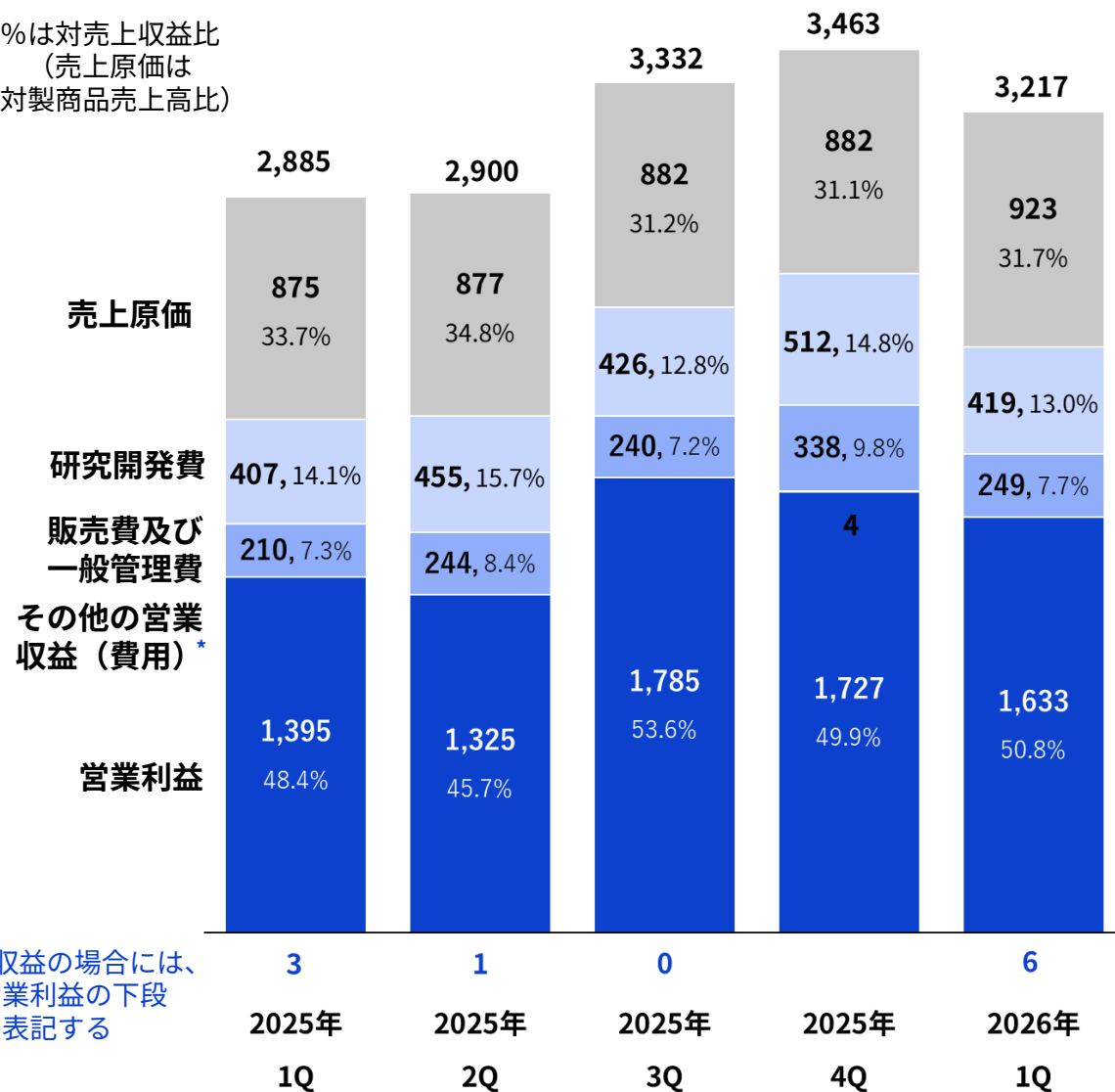
【億円】



損益の構成 四半期推移

【億円】

%は対売上収益比
(売上原価は
対製商品売上高比)



*収益の場合には、
営業利益の下段
に表記する

■前年同四半期（2025年1Q）比

スライド「損益 1-3月 前年同期比」参照

営業利益 +238億円, +17.1%

■前四半期（2025年4Q）比

製商品原価率は前四半期並み

研究開発費は例年の傾向により減少

販売費及び一般管理費は例年の傾向により減少

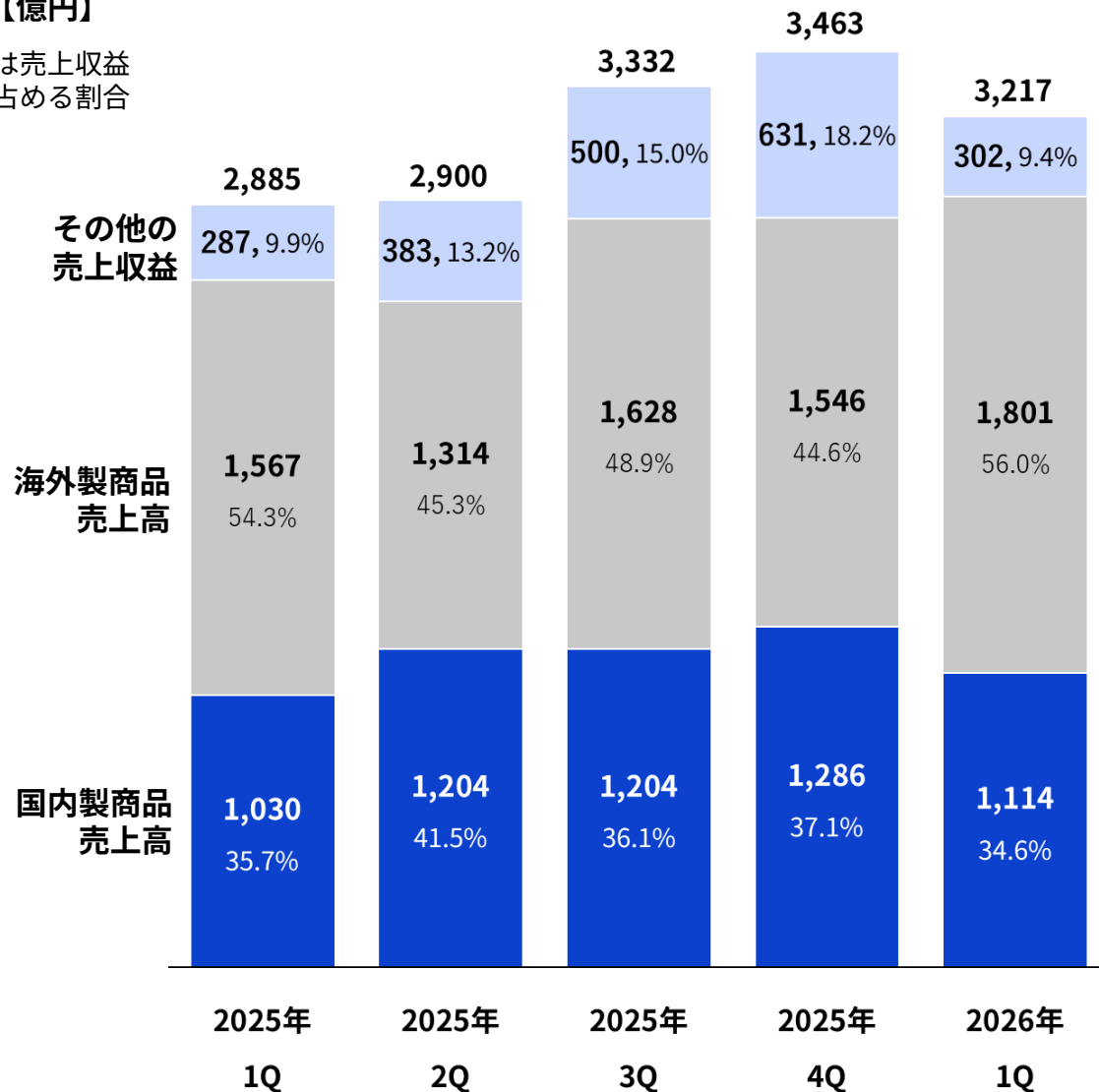
その他の営業収益(費用)は前四半期並み

営業利益 △94億円, △5.4%

売上収益の構成 四半期推移

【億円】

%は売上収益に占める割合



■前年同四半期（2025年1Q）比

スライド「損益 1-3月 前年同期比」参照

■前四半期（2025年4Q）比

国内は年末需要増の反動により減少

海外はヘムライブラが増加

その他の売上収益は年間累積売上連動型のロイヤルティ料率構造による減少

損益 1-3月 予想比

【億円】	実績	期初予想		2025年 進捗率*
	2026年 1-3月	2026年 1-12月	進捗率	
売上収益	3,217	13,450	23.9%	22.9%
製商品売上高	2,916	11,000	26.5%	24.1%
国内	1,114	4,980	22.4%	21.8%
海外	1,801	6,020	29.9%	25.9%
その他の売上収益	302	2,450	12.3%	15.9%
売上原価	△ 923	△ 3,835	24.1%	24.9%
製商品原価率	31.7%	34.9%	-	-
研究開発費	△ 419	△ 1,900	22.1%	22.6%
販売費及び一般管理費	△ 249	△ 1,020	24.4%	20.3%
その他の営業収益（費用）	6	5	120.0%	-
営業利益	1,633	6,700	24.4%	22.4%
営業利益率	50.8%	49.8%	-	-
当期利益	1,186	4,850	24.5%	22.0%
EPS（円）	72.03	295.00	24.4%	22.0%

- 国内
概ね想定通りの進捗
- 海外
概ね想定通りの進捗
- その他の売上収益
概ね想定通りの進捗
- 売上原価
1-3月の製商品売上原価率としては概ね想定通り
- 研究開発費
概ね想定通りの進捗
- 販売費及び一般管理費
概ね想定通りの進捗

*2025年通期実績に対する2025年 1-3月実績の進捗率

製商品売上高 1-3月 予想比

【億円】	実績	期初予想		2025年
	2026年 1-3月	2026年 1-12月	進捗率	進捗率*
製商品売上高	2,916	11,000	26.5%	24.1%
国内	1,114	4,980	22.4%	21.8%
オンコロジー領域	557	2,592	21.5%	21.5%
テセントリク	138	611	22.6%	22.0%
ポライビー	93	425	21.9%	20.2%
フェスゴ	84	351	23.9%	20.1%
アレセンサ	78	328	23.8%	22.4%
ルンスミオ	12	284	4.2%	-
カドサイラ	37	165	22.4%	21.5%
アバスチン	43	137	31.4%	23.4%
パージェタ	24	111	21.6%	24.0%
Foundation Medicine	18	78	23.1%	25.3%
その他	30	101	29.7%	22.3%

【億円】	実績	期初予想		2025年
	2026年 1-3月	2026年 1-12月	進捗率	進捗率*
スペシャリティ領域	557	2,388	23.3%	22.1%
ヘムライブラ	146	666	21.9%	20.1%
アクテムラ	118	462	25.5%	21.6%
エンズプリング	69	319	21.6%	20.9%
バビースモ	74	301	24.6%	20.6%
エブリスディ	36	152	23.7%	21.0%
エレビジス	5	120	4.2%	-
ピアスカイ	21	83	25.3%	18.8%
セルセプト	17	71	23.9%	25.0%
その他	69	213	32.4%	31.4%
海外	1,801	6,020	29.9%	25.9%
ヘムライブラ	1,089	3,540	30.8%	25.0%
アクテムラ	395	1,363	29.0%	26.9%
アレセンサ	170	604	28.1%	29.4%
エンズプリング	△0	92	-	27.4%
ノイトロジン	21	70	30.0%	27.0%
シグマート	21	24	87.5%	25.9%
その他	105	326	32.2%	19.3%

*2025年通期実績に対する2025年1-3月実績の進捗率

為替影響額 1-3月

	対2025年 実績レート 【C】 vs. 【A】	対2026年 想定レート 【C】 vs. 【B】
売上収益	+116億円	△9億円
製商品売上高	+99億円	△5億円
その他の売上収益	+16億円	△4億円
売上原価	△11億円	△0億円
上記以外*	△6億円	△1億円
営業利益	+98億円	△11億円

	2025年 実績レート** 1-3月 【A】	2026年 想定レート 1-3月 【B】	2026年 実績レート** 1-3月 【C】
1CHF	172.46円	182.76円	182.56円
1EUR	159.84円	179.00円	183.32円
1USD	147.35円	151.05円	149.85円

2026年 期中市場 平均レート*** 1-3月	2026年 想定レート 通期
200.23円	184.00円
183.63円	179.00円
156.81円	151.00円

* 研究開発費、販売費及び一般管理費、その他の営業収益（費用）の合計

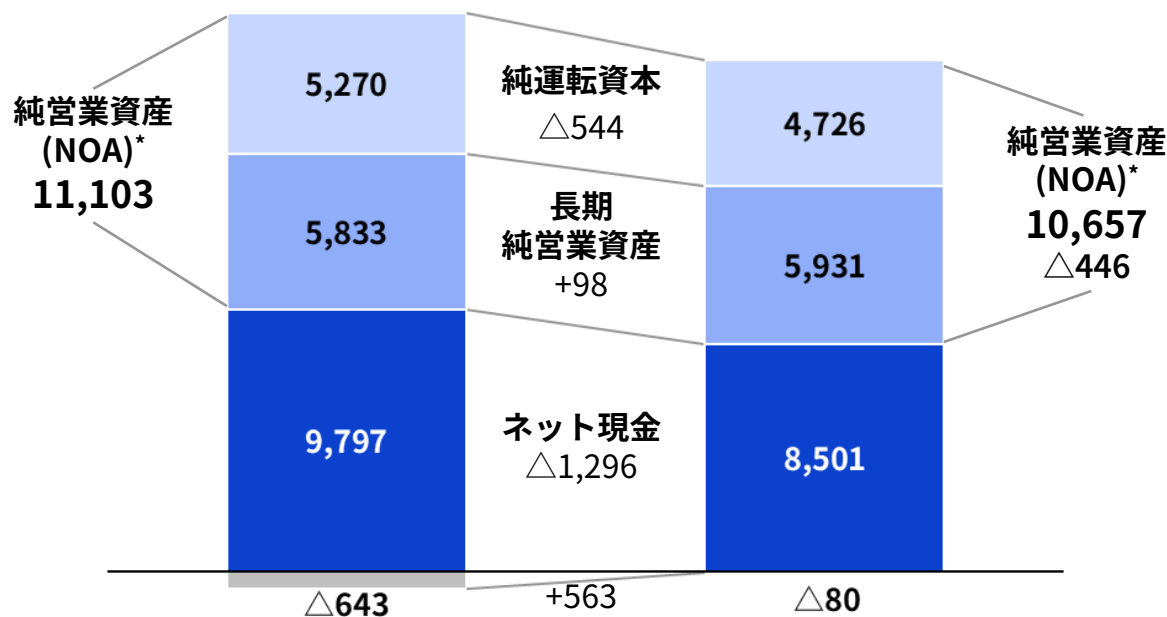
** 営業利益までの科目に含まれる外貨建取引に使用した計上レートを加重平均したもの

*** 決算期間中の市場為替レートを平均したもの

財政状態3月末 前期末比

【億円】

資産合計	24,686	△2,035	22,651
負債合計	△4,429	+855	△3,574
	20,257	純資産合計	19,077
		△1,180	



株主持分比率	2025年12月末	2026年3月末
	82.1%	84.2%
		+2.1pts

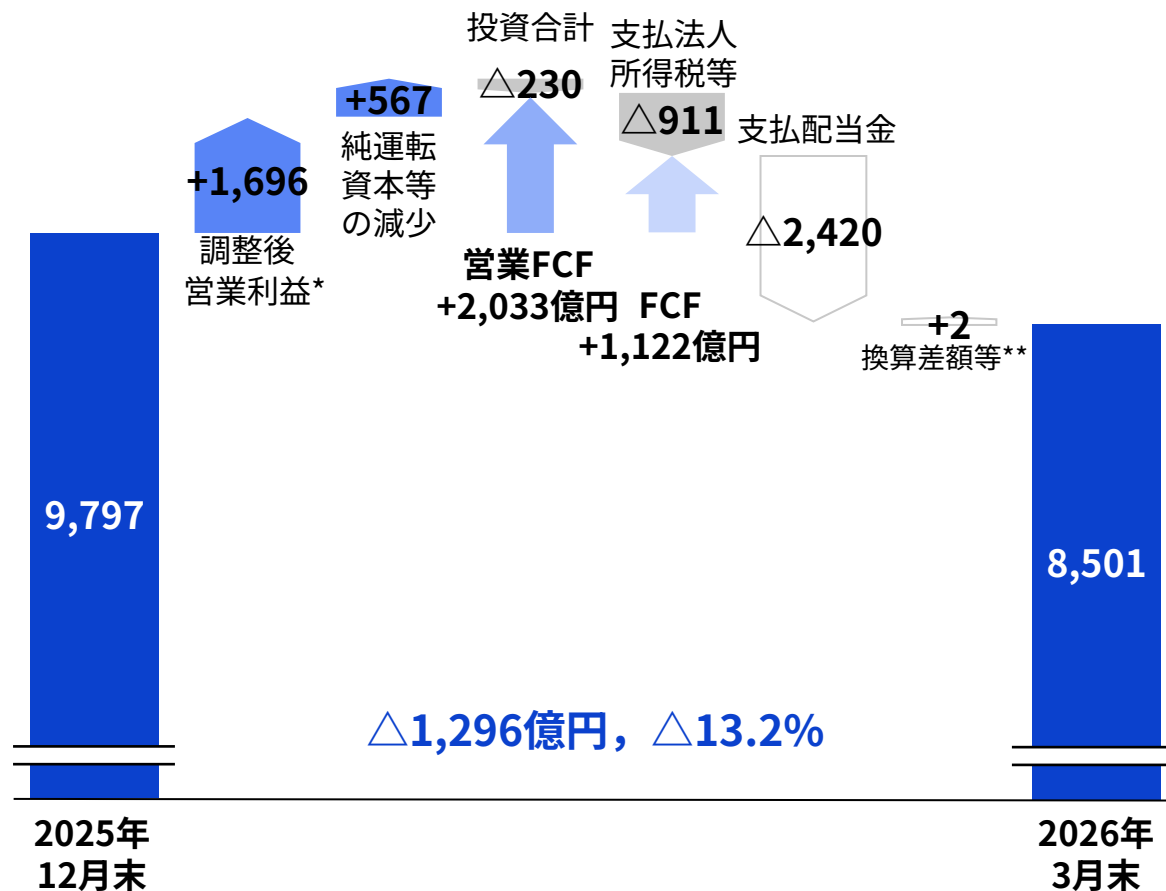
- 純運転資本の減少
主に未収入金が減少
- 長期純営業資産の増加
主に無形資産が増加
- ネット現金の減少
次ページ参照
- その他の営業外純資産の増加
主に未払法人所得税が減少

* NOA : Net Operating Assets

** 例 : 繰延税金資産、未払法人所得税等

ネット現金 前期末からの増減

【億円】



■ 調整後営業利益*	+1,696 億円
営業利益*	+1,588 億円
減価償却費、償却費および減損損失*	+88 億円
■ 純運転資本等の減少	+567 億円
■ 投資合計	△230 億円
有形固定資産の取得による支出	△127 億円
リース負債の支払いによる支出	△25 億円
無形資産の取得による支出	△79 億円
営業フリー・キャッシュ・フロー	+2,033 億円
■ 支払法人所得税等	△911 億円
支払法人所得税	△893 億円
フリー・キャッシュ・フロー	+1,122 億円
■ 支払配当金	△2,420 億円
■ 換算差額等**	+2 億円

* Non-Core含む (IFRS実績)

** 「換算差額等」 = 「自己株式の減少 (増加)」 + 「ネット現金の換算差額 (***)」等

*** 在外子会社の財務諸表の換算レート (ネット現金: 期末日レート / FCF: 期中平均レート) の違いから発生 (IAS第7号・IAS第21号を参考に、当社が定義)

損益 1-3月 Non-Core調整

【億円】	IFRS実績	Non-Core調整		Core実績
		無形資産	その他	
売上収益	3,217			3,217
製商品売上高	2,916			2,916
その他の売上収益	302			302
売上原価	△ 928	+5		△ 923
研究開発費	△ 419	+0		△ 419
販売費及び一般管理費	△ 289		+40	△ 249
その他の営業収益（費用）	6			6
営業利益	1,588	+5	+40	1,633
金融収支等	14			14
法人所得税	△ 448	△2	△12	△ 462
四半期利益	1,154	+4	+28	1,186
EPS (円)	70.13			72.03

Non-Core調整

営業利益影響内訳

■無形資産

償却費

+5億円

■その他

事業再構築費用

+40億円

主な投資等の現状と当面の計画

			~2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031~	投資予定額		期間*		
										総額	既投資額			
製造系	宇都宮工場	UT3：中後期治験/初期商用バイオ原薬製造									374億円	337億円	2023年	2026年
	浮間工場	UK3（改造工事）：バイオ原薬製造									203億円	109億円	2024年	2027年
研究開発系	CPR	研究機能拡充に伴う施設移転									60百万SGD	33百万SGD	2024年	2026年
	IFReC	IFReCへの包括連携契約に基づく資金提供									100億円	90億円	2017年	2027年
	浮間事業所	UKX：低・中分子およびバイオ医薬品の製法開発機能強化									800億円	15億円	2026年	2028年
環境	環境投資**	中期環境目標2030達成に向けた設備更新等									1,362億円 (試算総額)	89億円	2022年	2032年

* 設備投資は着手年から完成予定年を表す

** 表内に記載されている投資案件の一部を含む

お問い合わせ先

広報IR部

報道関係者の皆様：メディアリレーションズグループ

Tel : 03-3273-0881
E-mail : pr@chugai-pharm.co.jp
担当 : 香西、塩原、平野、宮澤、和泉

投資家の皆様：インベスターリレーションズグループ

Tel : 03-3273-0554
E-mail : ir@chugai-pharm.co.jp
担当 : 櫻井、島村、山田、池ヶ谷、大塚

創造で、想像を超える。

